

ダイワ・アジアリート・ファンド (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第52期 (決算日 2019年10月15日)
第53期 (決算日 2019年11月14日)
第54期 (決算日 2019年12月16日)
第55期 (決算日 2020年 1 月14日)
第56期 (決算日 2020年 2 月14日)
第57期 (決算日 2020年 3 月16日)

(作成対象期間 2019年 9 月18日～2020年 3 月16日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信 (リート)	
信託期間	約 9 年10カ月間 (2015年 5 月 7 日～2025年 3 月14日)	
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドの受益証券
	ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド	アジア (日本を除きます。) およびオセアニア地域の金融商品取引所上場および店頭登録 (上場予定および店頭登録予定を含みます。) の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジアおよびオセアニア地域のリート (不動産投資信託) に投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			アジアリート指数 (アジア部分、 配当込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
28期末(2017年10月16日)	10,117	20	0.9	11,694	1.6	11,019	△ 0.8	93.4	1,210
29期末(2017年11月14日)	10,482	20	3.8	12,228	4.6	11,510	4.5	93.2	928
30期末(2017年12月14日)	10,682	20	2.1	12,506	2.3	12,016	4.4	93.7	946
31期末(2018年1月15日)	10,705	20	0.4	12,705	1.6	11,482	△ 4.4	95.5	841
32期末(2018年2月14日)	9,794	20	△ 8.3	11,662	△ 8.2	10,636	△ 7.4	94.1	663
33期末(2018年3月14日)	10,016	20	2.5	11,903	2.1	10,750	1.1	94.9	674
34期末(2018年4月16日)	10,024	20	0.3	11,983	0.7	10,601	△ 1.4	95.5	673
35期末(2018年5月14日)	10,071	20	0.7	12,072	0.7	11,007	3.8	95.3	674
36期末(2018年6月14日)	10,146	20	0.9	12,243	1.4	11,280	2.5	95.6	672
37期末(2018年7月17日)	10,279	20	1.5	12,600	2.9	11,707	3.8	95.7	680
38期末(2018年8月14日)	10,119	20	△ 1.4	12,521	△ 0.6	11,418	△ 2.5	87.5	861
39期末(2018年9月14日)	10,222	20	1.2	12,741	1.8	11,710	2.6	87.7	871
40期末(2018年10月15日)	9,771	20	△ 4.2	12,187	△ 4.3	10,885	△ 7.0	86.2	842
41期末(2018年11月14日)	10,034	20	2.9	12,455	2.2	11,653	7.1	88.9	866
42期末(2018年12月14日)	10,327	20	3.1	13,153	5.6	11,814	1.4	89.5	890
43期末(2019年1月15日)	10,094	20	△ 2.1	12,885	△ 2.0	11,559	△ 2.2	89.7	869
44期末(2019年2月14日)	10,680	20	6.0	13,794	7.1	12,193	5.5	89.5	911
45期末(2019年3月14日)	11,016	20	3.3	14,262	3.4	12,619	3.5	92.1	959
46期末(2019年4月15日)	11,271	20	2.5	14,771	3.6	12,997	3.0	94.8	973
47期末(2019年5月14日)	10,898	20	△ 3.1	14,429	△ 2.3	12,305	△ 5.3	94.6	939
48期末(2019年6月14日)	11,237	20	3.3	14,862	3.0	12,838	4.3	94.8	752
49期末(2019年7月16日)	11,548	20	2.9	15,296	2.9	13,419	4.5	94.6	774
50期末(2019年8月14日)	10,841	20	△ 5.9	14,196	△ 7.2	12,815	△ 4.5	93.1	911
51期末(2019年9月17日)	11,222	20	3.7	14,898	5.0	12,759	△ 0.4	93.3	944
52期末(2019年10月15日)	11,359	20	1.4	14,863	△ 0.2	12,772	0.1	94.3	956
53期末(2019年11月14日)	11,179	20	△ 1.4	14,533	△ 2.2	12,847	0.6	93.8	941
54期末(2019年12月16日)	11,209	20	0.4	14,637	0.7	12,805	△ 0.3	96.3	941
55期末(2020年1月14日)	11,868	20	6.1	15,428	5.4	13,583	6.1	96.2	1,001
56期末(2020年2月14日)	12,062	20	1.8	15,179	△ 1.6	13,911	2.4	97.1	1,005
57期末(2020年3月16日)	9,727	20	△ 19.2	12,736	△ 16.1	10,007	△ 28.1	96.5	810

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アジアリート指数（アジア部分、配当込み、円換算）は、S & P Global REIT Indexの構成国地域のうち、日本を除くAsia Pacific (Developed)、およびAsia Pacific (Emerging) のアジア地域の構成国地域における前日の地域別の指数（現地通貨建て、配当込み）を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) アジアリート指数（オセアニア部分、配当込み、円換算）は、S & P Global REIT Indexの構成国地域のうち、Asia Pacific (Developed) の構成国地域、およびAsia Pacific (Emerging) のオセアニア地域の構成国地域における前日の地域別の指数（現地通貨建て、配当込み）を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

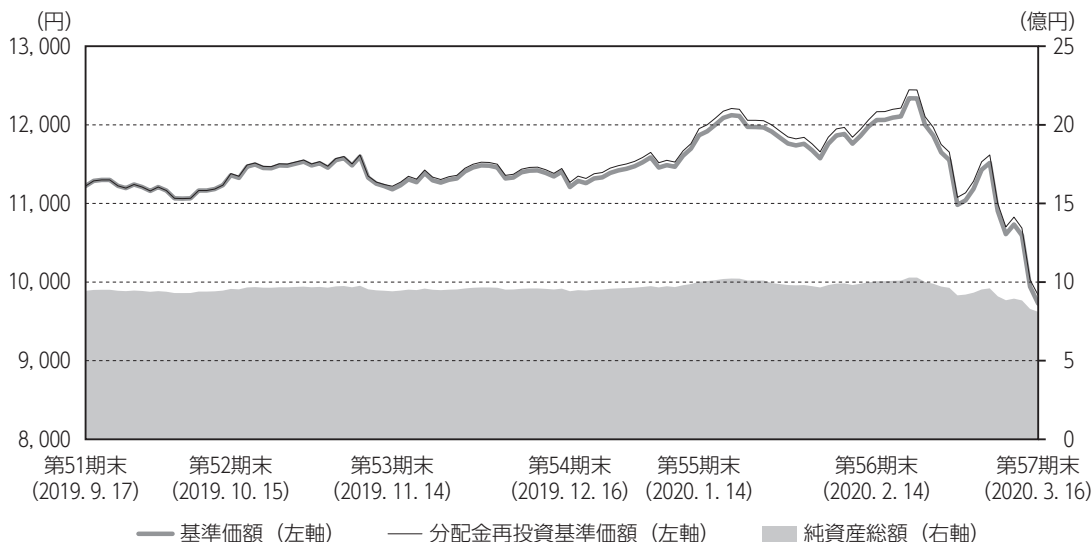
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 投資信託証券組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第52期首：11,222円

第57期末：9,727円（既払分配金120円）

騰落率：△12.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて世界経済減速への懸念が高まり、アジアのリート市場が下落したことが、基準価額にマイナスの要因となりました。また、投資家のリスク回避姿勢の強まりを受けてシンガポール・ドルやオーストラリア・ドルが円に対して下落したことが、基準価額にマイナスの要因となりました。

ダイワ・アジアリート・ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		アジアリート指数 (アジア部分、配当込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第52期	(期首) 2019年 9月17日	円 11,222	% —	14,898	% —	12,759	% —	93.3
	9月末	11,159	△ 0.6	14,716	△ 1.2	12,731	△ 0.2	94.1
	(期末) 2019年10月15日	11,379	1.4	14,863	△ 0.2	12,772	0.1	94.3
第53期	(期首) 2019年10月15日	11,359	—	14,863	—	12,772	—	94.3
	10月末	11,512	1.3	15,055	1.3	13,259	3.8	94.2
	(期末) 2019年11月14日	11,199	△ 1.4	14,533	△ 2.2	12,847	0.6	93.8
第54期	(期首) 2019年11月14日	11,179	—	14,533	—	12,847	—	93.8
	11月末	11,484	2.7	14,909	2.6	13,291	3.5	95.2
	(期末) 2019年12月16日	11,229	0.4	14,637	0.7	12,805	△ 0.3	96.3
第55期	(期首) 2019年12月16日	11,209	—	14,637	—	12,805	—	96.3
	12月末	11,587	3.4	15,032	2.7	13,401	4.7	96.4
	(期末) 2020年 1月14日	11,888	6.1	15,428	5.4	13,583	6.1	96.2
第56期	(期首) 2020年 1月14日	11,868	—	15,428	—	13,583	—	96.2
	1月末	11,758	△ 0.9	15,045	△ 2.5	13,492	△ 0.7	97.0
	(期末) 2020年 2月14日	12,082	1.8	15,179	△ 1.6	13,911	2.4	97.1
第57期	(期首) 2020年 2月14日	12,062	—	15,179	—	13,911	—	97.1
	2月末	11,552	△ 4.2	14,445	△ 4.8	13,051	△ 6.2	96.8
	(期末) 2020年 3月16日	9,747	△ 19.2	12,736	△ 16.1	10,007	△ 28.1	96.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 16）

■ リート市況

アジア・オセアニア地域のリート市場は総じて下落しました。

当作成期首から2019年12月にかけて、アジア・オセアニア地域のリート市場は、おおむね横ばいで推移しました。国別では、シンガポール市場は好調な業績動向を背景に堅調に推移しました。一方で、香港市場は長引く政府に対する抗議行動を背景に軟調な展開となりました。2020年1月から2月前半にかけては、米中通商協議において進展がみられるなど政治的リスクが後退したことや、各国中央銀行による金融緩和策が引き続き世界経済を下支えするとの期待感などから、リート市場は堅調な推移となりました。2月後半から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて世界経済減速の懸念が高まり、アジア・オセアニア地域のリート市場は下落しました。

■ 為替相場

シンガポール・ドル、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2020年1月にかけては、米中通商協議の進展期待や2019年12月に実際に米国による追加関税が見送られたこと、また英国のEU（欧州連合）離脱について秩序ある離脱に向けて進展がみられたことなどから投資家のリスク選好が強まり、オーストラリア・ドルやシンガポール・ドルは対円で上昇しました。しかし2020年2月から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルやシンガポール・ドルは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 9. 18 ~ 2020. 3. 16)

■当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

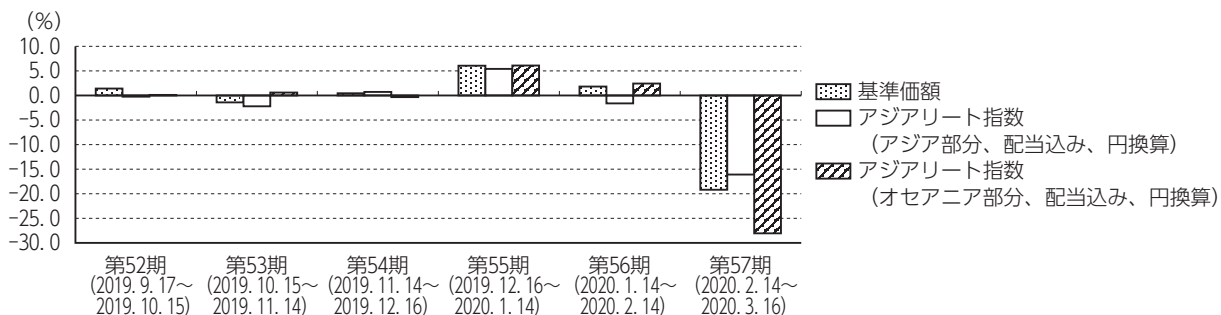
■ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

地域密着型のスーパーマーケットなどを主要テナントに抱え、業績の安定性と成長性を両立させている香港の LINK REIT、シンガポールを中心に世界でデータセンターを保有する KEPPEL DC REIT、オンラインショッピングの拡大などを背景に堅調な需要が期待されるオーストラリアの物流施設大手 GOODMAN GROUP、ハイテク・セクター向けのビジネススペースや物流施設などの工業用不動産を投資対象とするシンガポールの ASCENDAS REAL ESTATE、シンガポールで優良ショッピングモールを保有する CAPITALAND MALL TRUSTなどを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	2019年9月18日 ～2019年10月15日	2019年10月16日 ～2019年11月14日	2019年11月15日 ～2019年12月16日	2019年12月17日 ～2020年1月14日	2020年1月15日 ～2020年2月14日	2020年2月15日 ～2020年3月16日
当期分配金（税込み）（円）	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率（％）	0.18	0.18	0.18	0.17	0.17	0.21
当期の収益（円）	18	20	16	20	20	14
当期の収益以外（円）	1	—	3	—	—	5
翌期繰越分配対象額（円）	1,733	1,746	1,742	2,030	2,224	2,219

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 18.58円	✓ 33.17円	✓ 16.40円	✓ 25.29円	✓ 60.34円	✓ 14.55円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	282.13	153.97	0.00
(c) 収益調整金	538.88	539.35	539.86	550.62	551.87	553.04
(d) 分配準備積立金	✓ 1,195.56	1,193.68	✓ 1,206.34	1,192.20	1,478.42	✓ 1,671.58
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,753.03	1,766.20	1,762.62	2,050.26	2,244.62	2,239.19
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,733.03	1,746.20	1,742.62	2,030.26	2,224.62	2,219.19

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第52期～第57期 (2019. 9. 18～2020. 3. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	93円	0. 814%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 450円です。
(投 信 会 社)	(45)	(0. 394)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0. 394)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0. 003	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(0)	(0. 003)	
有価証券取引税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	8	0. 073	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0. 049)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0. 022)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	102	0. 891	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

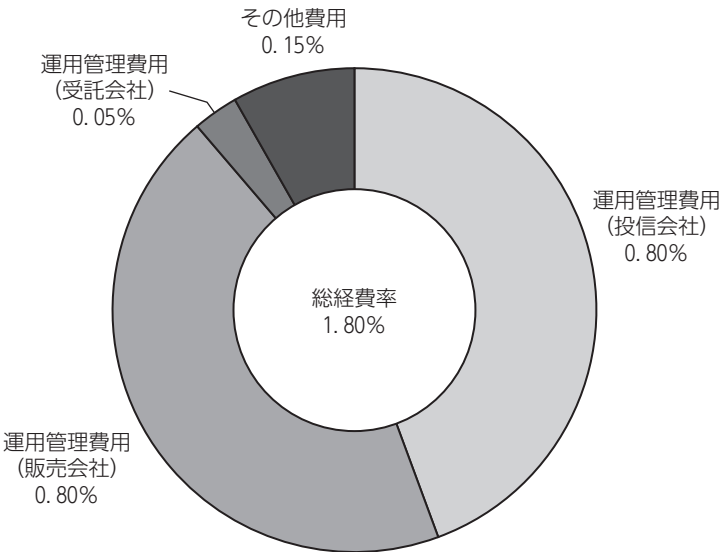
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月18日から2020年3月16日まで)

決 算 期	第 52 期 ～ 第 57 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・アジア 不動産投資信託 マザーファンド	9,882	13,600	25,825	36,100

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
235	—	—	235	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月15日)、(2019年11月14日)、(2019年12月16日)、(2020年1月14日)、(2020年2月14日)、(2020年3月16日)現在

項 目	第52期末	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末
(A) 資産	959,072,102円	944,205,258円	944,668,647円	1,004,769,026円	1,009,345,441円	813,835,861円
コール・ローン等	12,002,502	12,428,612	7,625,913	7,502,049	7,720,724	7,349,283
ダイワ・アジア不動産投資信託 マザーファンド（評価額）	947,069,600	931,776,646	937,042,734	997,266,977	1,000,424,717	806,486,578
未収入金	—	—	—	—	1,200,000	—
(B) 負債	2,866,845	2,997,820	3,088,461	2,969,754	4,200,540	3,031,691
未払収益分配金	1,683,602	1,683,937	1,679,995	1,688,268	1,666,617	1,667,105
未払解約金	—	—	17,659	—	1,119,654	—
未払信託報酬	1,179,295	1,305,594	1,377,945	1,264,421	1,392,577	1,338,447
その他未払費用	3,948	8,289	12,862	17,065	21,692	26,139
(C) 純資産総額（A－B）	956,205,257	941,207,438	941,580,186	1,001,799,272	1,005,144,901	810,804,170
元本	841,801,339	841,968,655	839,997,894	844,134,499	833,308,942	833,552,551
次期繰越損益金	114,403,918	99,238,783	101,582,292	157,664,773	171,835,959	△ 22,748,381
(D) 受益権総口数	841,801,339口	841,968,655口	839,997,894口	844,134,499口	833,308,942口	833,552,551口
1万口当り基準価額（C／D）	11,359円	11,179円	11,209円	11,868円	12,062円	9,727円

* 第51期末における元本額は841,320,796円、当作成期間（第52期～第57期）中における追加設定元本額は10,857,227円、同解約元本額は18,625,472円です。

* 第57期末の計算口数当りの純資産額は9,727円です。

* 第57期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は22,748,381円です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第51期末	第 57 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・アジア不動産 投資信託マザーファンド	697,327	681,384	806,486

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月16日現在

項 目	第 57 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・アジア不動産投資信託 マザーファンド	806,486	99.1
コール・ローン等、その他	7,349	0.9
投資信託財産総額	813,835	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.91円、1オーストラリア・ドル＝65.80円、1香港・ドル＝13.77円、1シンガポール・ドル＝75.46円、1マレーシア・リンギット＝24.90円、1タイ・バーツ＝3.35円、1ユーロ＝118.95円です。

(注3) ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドにおいて、第57期末における外貨建純資産（881,942千円）の投資信託財産総額（885,971千円）に対する比率は、99.5%です。

ダイワ・アジアリート・ファンド（毎月分配型）

■損益の状況

第52期 自 2019年 9月18日 至 2019年10月15日		第54期 自 2019年11月15日 至 2019年12月16日		第56期 自 2020年 1月15日 至 2020年 2月14日		
第53期 自 2019年10月16日 至 2019年11月14日		第55期 自 2019年12月17日 至 2020年 1月14日		第57期 自 2020年 2月15日 至 2020年 3月16日		
項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(A) 配当等収益	△ 287円	△ 275円	△ 263円	△ 231円	△ 87円	△ 152円
受取利息	11	—	2	1	—	—
支払利息	△ 298	△ 275	△ 265	△ 232	△ 87	△ 152
(B) 有価証券売買損益	14, 394, 508	△ 12, 194, 812	5, 636, 663	58, 333, 224	19, 257, 135	△ 191, 608, 599
売買益	14, 402, 821	12, 587	5, 666, 080	58, 424, 243	19, 373, 742	29, 176
売買損	△ 8, 313	△ 12, 207, 399	△ 29, 417	△ 91, 019	△ 116, 607	△ 191, 637, 775
(C) 信託報酬等	△ 1, 183, 243	△ 1, 309, 935	△ 1, 382, 524	△ 1, 268, 624	△ 1, 397, 204	△ 1, 342, 894
(D) 当期損益金 (A + B + C)	13, 210, 978	△ 13, 505, 022	4, 253, 876	57, 064, 369	17, 859, 844	△ 192, 951, 645
(E) 前期繰越損益金	71, 086, 172	82, 597, 718	67, 222, 632	69, 525, 196	123, 198, 537	139, 335, 578
(F) 追加信託差損益金	31, 790, 370	31, 830, 024	31, 785, 779	32, 763, 476	32, 444, 195	32, 534, 791
(配当等相当額)	(45, 363, 096)	(45, 411, 859)	(45, 348, 935)	(46, 480, 398)	(45, 988, 184)	(46, 099, 521)
(売買損益相当額)	(△ 13, 572, 726)	(△ 13, 581, 835)	(△ 13, 563, 156)	(△ 13, 716, 922)	(△ 13, 543, 989)	(△ 13, 564, 730)
(G) 合計 (D + E + F)	116, 087, 520	100, 922, 720	103, 262, 287	159, 353, 041	173, 502, 576	△ 21, 081, 276
(H) 収益分配金	△ 1, 683, 602	△ 1, 683, 937	△ 1, 679, 995	△ 1, 688, 268	△ 1, 666, 617	△ 1, 667, 105
次期繰越損益金 (G + H)	114, 403, 918	99, 238, 783	101, 582, 292	157, 664, 773	171, 835, 959	△ 22, 748, 381
追加信託差損益金	31, 790, 370	31, 830, 024	31, 785, 779	32, 763, 476	32, 444, 195	32, 534, 791
(配当等相当額)	(45, 363, 096)	(45, 411, 859)	(45, 348, 935)	(46, 480, 398)	(45, 988, 184)	(46, 099, 521)
(売買損益相当額)	(△ 13, 572, 726)	(△ 13, 581, 835)	(△ 13, 563, 156)	(△ 13, 716, 922)	(△ 13, 543, 989)	(△ 13, 564, 730)
分配準備積立金	100, 523, 658	101, 613, 293	101, 030, 990	124, 901, 297	139, 391, 764	138, 881, 790
繰越損益金	△ 17, 910, 110	△ 34, 204, 534	△ 31, 234, 477	—	—	△ 194, 164, 962

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(a) 経費控除後の配当等収益	1, 564, 200円	2, 792, 834円	1, 378, 263円	2, 135, 176円	5, 028, 714円	1, 213, 317円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	23, 816, 133	12, 831, 130	0
(c) 収益調整金	45, 363, 096	45, 411, 859	45, 348, 935	46, 480, 398	45, 988, 184	46, 099, 521
(d) 分配準備積立金	100, 643, 060	100, 504, 396	101, 332, 722	100, 638, 256	123, 198, 537	139, 335, 578
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	147, 570, 356	148, 709, 089	148, 059, 920	173, 069, 963	187, 046, 565	186, 648, 416
(f) 分配金	1, 683, 602	1, 683, 937	1, 679, 995	1, 688, 268	1, 666, 617	1, 667, 105
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	145, 886, 754	147, 025, 152	146, 379, 925	171, 381, 695	185, 379, 948	184, 981, 311
(h) 受益権総口数	841, 801, 339□	841, 968, 655□	839, 997, 894□	844, 134, 499□	833, 308, 942□	833, 552, 551□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年 4 月 1 日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2020年3月16日）

（作成対象期間 2019年9月18日～2020年3月16日）

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	アジア（日本を除きます。）およびオセアニア地域の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
株式組入制限	無制限

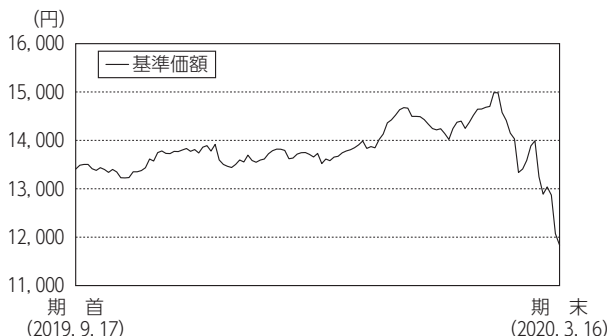
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		アジアリート指数 (アジア部分、配当 込み、円換算)		アジアリート指数 (オセアニア部分、 配当込み、円換算)		投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	参考指数	騰落率	参考指数	騰落率	
(期首) 2019年9月17日	13,408	—	14,898	—	12,759	—	94.2
9月末	13,339	△ 0.5	14,716	△ 1.2	12,731	△ 0.2	95.0
10月末	13,810	3.0	15,055	1.1	13,259	3.9	95.1
11月末	13,819	3.1	14,909	0.1	13,291	4.2	96.1
12月末	13,988	4.3	15,032	0.9	13,401	5.0	96.8
2020年1月末	14,241	6.2	15,045	1.0	13,492	5.7	97.4
2月末	14,032	4.7	14,445	△ 3.0	13,051	2.3	97.3
(期末) 2020年3月16日	11,836	△11.7	12,736	△14.5	10,007	△21.6	97.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) アジアリート指数 (アジア部分、配当込み、円換算) は、S & P Global REIT Index の構成国地域のうち、日本を除く Asia Pacific (Developed)、および Asia Pacific (Emerging) のアジア地域の構成国地域における前日の地域別の指数 (現地通貨建て、配当込み) を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) アジアリート指数 (オセアニア部分、配当込み、円換算) は、S & P Global REIT Index の構成国地域のうち、Asia Pacific (Developed) の構成国地域、および Asia Pacific (Emerging) のオセアニア地域の構成国地域における前日の地域別の指数 (現地通貨建て、配当込み) を円換算し、時価総額比率で合成し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,408円 期末：11,836円 騰落率：△11.7%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は下落しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて世界経済減速への懸念が高まり、アジアのリート市場が下落したことが、基準価額にマイナスの要因となりました。また、投資家のリスク回避姿勢の強まりを受けてシンガポール・ドルやオーストラリア・ドルが円に対して下落したことが、基準価額にマイナスの要因となりました。

◆投資環境について

○リート市況

アジア・オセアニア地域のリート市場は総じて下落しました。

当作成期首から2019年12月にかけて、アジア・オセアニア地域のリート市場は、おおむね横ばいで推移しました。国別では、シンガポール市場は好調な業績動向を背景に堅調に推移しました。一方で、香港市場は長引く政府に対する抗議行動を背景に軟調な展開となりました。2020年1月から2月前半にかけては、米中商協において進展がみられるなど政治的リスクが後退したことや、各国中央銀行による金融緩和策が引き続き世界経済を支えするとの期待感などから、リート市場は堅調な推移となりました。2月後半から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて世界経済減速の懸念が高まり、アジア・オセアニア地域のリート市場は下落しました。

○為替相場

シンガポール・ドル、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2020年1月にかけては、米中商協の進展期待や2019年12月に実際に米国による追加関税が見送られたこと、また英国のEU (欧州連合) 離脱について秩序ある離脱に向けて進展がみられたことなどから投資家のリスク選好が強まり、オーストラリア・ドルやシンガポール・ドルは対円で上昇しました。しかし2020年2月から当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルやシンガポール・ドルは対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

◆ポートフォリオについて

地域密着型のスーパーマーケットなどを主要テナントにかかえ、業績の安定性と成長性を両立させている香港の LINK REIT、シンガポールを中心に世界でデータセンターを保有する KEPPEL DC REIT、オンラインショッピングの拡大などを背景に堅調な需要が期待されるオーストラリアの物流施設大手 GOODMAN GROUP、ハイテク・セクター向けのビジネススペースや物流施設などの工業用不動産を投資対象とするシンガポールの ASCENDAS REAL ESTATE、シンガポールで優良ショッピングモールを保有する CAPITALAND MALL TRUSTなどを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは引き続き、優れた不動産開発能力や高いテナント管理能力などを通じた強固な収益基盤を持ち、継続的に投資家へのリターンを成長させることが期待できる銘柄を中心に投資してまいります。また、バリュエーション面で割安感が強い中小型銘柄にも注目していく方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (投資信託証券)	0円 (0)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	10 (7) (3)
合 計	10

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
投資信託証券

当 期				期 付			
買 付		売		買 付		売	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
KEPPEL PACIFIC OAK US REIT (シンガポール)	千口 110	千円 9,350	円 85		千口	千円	円
LINK REIT (香港)	4	4,588	1,147				

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況
投資信託証券

(2019年 9月18日から2020年 3月16日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口 110 (5.72)	千アメリカ・ドル 85 (3)	千口 — (—)	千アメリカ・ドル — (—)
	オーストラリア	千口 — (17.293)	千オーストラリア・ドル — (45)	千口 — (—)	千オーストラリア・ドル — (—)
	香港	千口 4 (—)	千香港・ドル 327 (—)	千口 — (—)	千香港・ドル — (—)
	シンガポール	千口 — (100.564)	千シンガポール・ドル — (191)	千口 — (—)	千シンガポール・ドル — (—)
国	タイ	千口 — (27.076)	千タイ・パーツ — (△ 81)	千口 — (—)	千タイ・パーツ — (—)
	ユーロ (その他)	千口 — (—)	千ユーロ — (△ 1)	千口 — (—)	千ユーロ — (—)

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国投資信託証券

銘 柄	期 首		期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	外 貨 建 金 額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
(シンガポール)				
MANULIFE US REAL ESTATE INV	110	115.72	102	11,010
KEPPEL PACIFIC OAK US REIT	—	110	65	6,997
アメリカ・ドル通貨計	□ 数、金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	110 1 銘柄	225.72 2 銘柄	168 <2.0%>
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリア・ドル	千円
CHARTER HALL SOCIAL INFRASR	4.751	4.867	11	768
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	45	46.256	136	8,978
RURAL FUNDS GROUP	83.246	85.705	155	10,263
CENTURIA OFFICE REIT	61.28	67.408	168	11,088
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	115	118.182	320	21,073
NATIONAL STORAGE REIT	80	81.758	167	11,028
APN INDUSTRIA REIT	9.26	9.542	24	1,594
SCENTRE GROUP	61	61	158	10,435
ARENA REIT	83.887	85.999	204	13,467
DEXUS	20	20	231	15,252
GPT GROUP	25	25	128	8,422
MIRVAC GROUP	50	50	135	8,883
STOCKLAND	60	60	238	15,713
GOODMAN GROUP	57	57	784	51,608
CHARTER HALL GROUP	30	30	290	19,128
オーストラリア・ドル通貨計	□ 数、金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	785.424 15 銘柄	802.717 15 銘柄	3,156 <23.4%>
(香港)	千口	千口	千香港・ドル	千円
YUEXIU REAL ESTATE INVESTMEN	130	130	526	7,249
SUNLIGHT REAL ESTATE INVEST	174	174	709	9,775
FORTUNE REIT	150	150	1,122	15,449
PROSPERITY REIT	350	350	913	12,578
LINK REIT	70	74	5,424	74,691
CHAMPION REIT	200	200	860	11,842
香 港 ・ ド ル 通 貨 計	□ 数、金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,074 6 銘柄	1,078 6 銘柄	9,556 <14.9%>
(シンガポール)	千口	千口	千シンガポール・ドル	千円
KEPPEL DC REIT	470	519.35	1,106	83,475
FIRST REAL ESTATE INVT TRUST	190.686	190.686	148	11,223
FRASERS LOGISTICS & INDUSTRI	440	440	462	34,862
CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	244.7	244.7	435	32,867
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	253	293.48	883	66,659

ダイワ・アジア不動産投資信託マザーファンド

銘 柄		期 首	当	期 末	
		□ 数	□ 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
		千□	千□	千シンガポール・ドル	千円
CAPITALAND MALL TRUST		295	295	643	48,528
SUNTEC REIT		150	150	228	17,204
MAPLETREE LOGISTICS TRUST		236.662	236.662	409	30,895
KEPPEL REIT		87.451	87.451	96	7,258
ESR-REIT		185.796	191.184	79	5,987
FRASERS CENTREPOINT TRUST		209.805	209.805	537	40,529
PARKWAYLIFE REAL ESTATE		105	105	336	25,354
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST		133.599	133.599	359	27,118
MAPLETREE COMMERCIAL TRUST		40.005	42.845	88	6,692
FAR EAST HOSPITALITY TRUST		189.882	192.388	101	7,694
OUE COMMERCIAL REAL ESTATE I		203.745	203.745	79	5,996
シンガポール・ドル通貨計	□ 数、金 額	3,435.331	3,535.895	5,994	452,348
	銘 柄 数 < 比 率 >	16 銘柄	16 銘柄		<51.1%>
(マレーシア)		千□	千□	千マレーシア・リンギット	千円
SUNWAY REAL ESTATE INVESTMEN		270	270	486	12,101
マレーシア・リンギット通貨計	□ 数、金 額	270	270	486	12,101
	銘 柄 数 < 比 率 >	1 銘柄	1 銘柄		<1.4%>
(タイ)		千□	千□	千タイ・バーツ	千円
CPN RETAIL GROWTH LEASEH-FOR		120	120	3,300	11,055
FRASERS PROPERTY THA-FOREIGN		240	240	3,528	11,818
IMPACT GROWTH REIT-FOREIGN		120	120	1,656	5,547
(非上場)					
CPN RETAIL GRO-F RTS		—	27.076	29	100
タイ・バーツ通貨計	□ 数、金 額	480	507.076	8,513	28,521
	銘 柄 数 < 比 率 >	3 銘柄	4 銘柄		<3.2%>
ユーロ (その他)		千□	千□	千ユーロ	千円
CROMWELL EUROPEAN REIT		180	180	78	9,313
ユ ー ロ 通 貨 計	□ 数、金 額	180	180	78	9,313
	銘 柄 数 < 比 率 >	1 銘柄	1 銘柄		<1.1%>
合 計	□ 数、金 額	6,334.755	6,599.408	—	859,589
	銘 柄 数 < 比 率 >	43 銘柄	45 銘柄		<97.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	859,589	97.0
コール・ローン等、その他	26,382	3.0
投資信託財産総額	885,971	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.91円、1オーストラリア・ドル＝65.80円、1香港・ドル＝13.77円、1シンガポール・ドル＝75.46円、1マレーシア・リンギット＝24.90円、1タイ・バーツ＝3.35円、1ユーロ＝118.95円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(881,942千円)の投資信託財産総額(885,971千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	885,971,486円
コール・ローン等	24,879,057
投資信託証券(評価額)	859,589,325
未収入金	262,123
未収配当金	1,240,981
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A－B)	885,971,486
元本	748,567,464
次期繰越損益金	137,404,022
(D) 受益権総口数	748,567,464口
1万口当り基準価額(C/D)	11,836円

* 期首における元本額は761,228,259円、当作成期間中における追加設定元本額は15,565,394円、同解約元本額は28,226,189円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・アジアリート・ファンド(年1回決算型)67,183,062円、ダイワ・アジアリート・ファンド(毎月分配型)681,384,402円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,836円です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月18日 至 2020年3月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	18,356,849円
受取配当金	18,331,280
受取利息	28,229
支払利息	△ 2,660
(B) 有価証券売買損益	△ 134,405,116
売買益	24,301,480
売買損	△ 158,706,596
(C) その他費用	△ 722,216
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 116,770,483
(E) 前期繰越損益金	259,413,710
(F) 解約差損益金	△ 11,273,811
(G) 追加信託差損益金	6,034,606
(H) 合計(D+E+F+G)	137,404,022
次期繰越損益金(H)	137,404,022

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。